

## 2010年度 サステナビリティ学最前線

### 主題と目標

ネットワーク型研究拠点 IR3S (Integrated Research System for Sustainability) におけるサステナビリティ学研究の最先端に触れる。サステナビリティ学の関連分野の広さと相互関連性を知り、それらの統合とサステナビリティ学創成の過程に参加する。

### 内容

メンバー大学において、サステナビリティ学の研究を牽引するトップランナーによるリレー形式でおこなう。講義は英語でおこない、平成22年度は、秋学期の土曜日10月30日、11月6日・13日に集中講義形式で開講する。また、遠隔講義システムを用いて5大学を結ぶ遠隔講義形式で実施し、IR3S 共同教育プログラム修了認定証取得のための必修科目とする。

		10月30日 (土)	11月6日 (土)	11月13日 (土)
1	09:00 -10:30	9:00-9:20 全体説明 9:20-10:50 温暖化影響、適応策 村上哲(茨城大学工学部)	持続可能な経済発展の理論 植田和弘(京都大学大学院経済学研究科)	水圏生態系と持続的資源管理 帰山雅秀(北海道大学水産科学研究科)
2	10:45 -12:15	11:05-12:35 食糧とサステナビリティ 柳島宏治(茨城大学大学院教育部)	小西哲之(京都大学エネルギー理工学研究科)	アイヌに関する講義 小野有五(北海道大学地球環境科学研究科)
3	13:15 -14:45	13:35-15:05 知の構造化・オントロジー溝 口理一郎(大阪大学産業科学研究所)	東京大学1	ディスカッション1 (学内)
4	15:00 -16:30	15:20-16:50 開発と平和 Hawkins Virgil (大阪大学国際公共政策研究科、グローバルコラボレーションセンター)	東京大学2	ディスカッション2 (学内+5大学発表)
5	16:45 -18:15	17:05-18:15 学内ディスカッション	学内ディスカッション	ディスカッション3 (5大学発表)